大阪府立

東大阪

支援学校

タイトル(テーマ)

視線入力装置を用いた選択活動

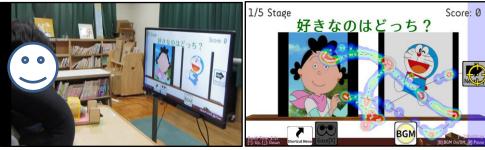
東大阪 No. 号

令和

2 年 1 月 31 日

## 取組の内容・授業の様子(小学部)





ねらい ・重度重複障がいの児童が、視線で意思(好きなほうを選ぶ)を伝えることができる。

ソフトはEyeMoT3D でEye Movement Training を使用

- ①Your Imagesを2択に設定し、使用したい写真データをはめ込み、スタート。
- ②児童に対して問いかける。(写真例では、「どちらが好きですか」など)
- ③どちらかの写真を児童が見続けると、その写真が倒れる。 写真を見て視線を留める時間の長さは、ソフトで設定すること可能。
- ④倒れたら選んだということで、児童に刺激を返す。(写真例では、そのアニメの動画を見るなど)
- ⑤繰り返し取り組むことで、視線を向ける=選ぶ、ということがわかるのでは ないかと、考える。
- \*写真を選んだ(倒した)後、視線の軌跡を画面で見ることができる。 両方に視線を向けて見比べることができているかなど、確認できる。

## 成果と今後の課題

頭部の不安定さがあったり、視線の揺れがあったりすると、視線をうまく拾えなかったりする。一人ひとりの状況に合わせて、細かく姿勢や環境を整える必要が ある。